



きんぼし
東大阪

佐藤鉄工 株式会社

〒577-0065

東大阪市高井田中 1-7-10

TEL 06-6783-1484

FAX 06-6783-1868

http://www.satotekkou.co.jp

E-mail:sato@satotekkou.co.jp



代表取締役
佐藤 晃司

★創業
1950年(昭和25年)

★資本金
3,000万円

★従業員
25人

★主要営業品目
鋼球、プラスチック球、セラミック球、ガラス球等各種素材の球体製造

★独自技術・製品
球体製造の為に高精度研磨技術

機能を追及した高精度な 球体が生み出す無限の可能性

佐藤鉄工(株)は、鋼球をはじめ、プラスチックやガラス、セラミック等様々な素材で球体を製造しており、パチンコ球では約30%の国内シェアを占めている。

同社は1950年の創業時には紡績、印刷機械の修理改造を業としていたが、1952年に大径ベアリング鋼球を製造して以来、球体製造に取り組み、顧客からの要望で鉄以外の球体の製造も手掛けるようになった。以後、プラスチック球やセラミック球等の研究開発を始め、特殊球製造部門を設立した。現在ではパチンコ球を除く鋼球は生産委託により海外生産し、高精度が求められる付加価値の高い特殊球は国内で製造している。

特殊球の素材のひとつであるプラスチックは、軽量、耐酸性、対アルカリ性、絶縁性、対磁性に加え、着色や添加物による機能性が付加できる等の長所があり、特殊バルブや化粧品、コンピュータ等幅広い用途がある。しかし、機械部品や宇宙原子力部品など耐熱性を求めるならばセラミックを用い、医療機器、光通信や光学機器など不活性や光の透過性を求める場合はガラス素材を用いる等、ユーザーのニーズに合わせて様々な素材を選定し球体化している。

同社は、球体加工の先行メーカーとして、素材メーカーからの試作依頼があり、新素材の球体化に取り組める優位性がある。また、同社が駆使する特殊球の製造機械は、市場では販売されていないことから、自社開発しており、独自の高精度研磨技術を確立している。球体の特性と新素材の特性の組み合わせによって新たな用途が広がり、同社の技術開発力で無限の可能性が拓かれる事が期待される。

